



### ドラマ『陸王』宮沢紘一役を熱演 役所広司さんに感謝状を贈呈

大勢の人に感動と勇気を与えてくれたTBSテレビ日曜劇場「陸王」。行田市が「陸王の舞台」として全国の方に認知され、訪れていただいているのも、熱演された俳優陣や関係者の皆さんのおかげによるところが大きいといえます。特に主人公の宮沢紘一を演じた役所広司さんには、昨年度の田んぼアートにもご協力いただきました。

こうしたことから、4月25日、本市を代表して工藤市長から感謝状を贈呈しました。役所さんからは、「行田の皆さんの協力なしには実現できなかった作品であり、本当に感謝しています。皆さんの力を得て出演者もスタッフも一緒に頑張れたのだと思います」との言葉をいただきました。



### ホタルの美しい光が灯る 夏を願って

5月6日、古代蓮の里ホタルの川でヘイケボタルの幼虫の放流が行われました。

これは、古代蓮の里にホタルが定着し繁殖することを目的に、平成17年から古代蓮の里ホタルの会が主体となって行われている催しです。今年は約70人が参加し、同会による手作りの紙芝居でホタルの成長過程などを学習。その後、参加者はたくさんのホタルが成長し美しい光を灯すようお願いながら約3,000匹の幼虫を優しく小川に放流しました。



### 梶山内閣府特命担当大臣が 近代化遺産を視察

5月12日、梶山弘志内閣府特命担当大臣が本市を訪れました。「忠次郎蔵」「牧禎舎」「足袋とくらしの博物館」「牧野本店」など、日本遺産の構成資産となっている近代化遺産を視察しました。

視察を終えた梶山大臣は「地域資源をどのように生かすか、それをまちの特徴となるようにしていくことが大切。また、地方創生は息の長い取り組みなので、頑張っている地域には全力で走ってもらい、先行事例を作っていただきたい」と感想を述べました。



### 大正ロマン漂う 新たな憩いの場が誕生

4月21・22日の2日間、昨年から水城公園東側園地に移築・保存修理工事を進めていた旧忍町信用組合店舗(市指定文化財)の竣工内覧会が開催されました。

外装は創建当初の色を忠実に再現し、屋内には銀行カウンターや階段などを復元整備。新たな憩いの場の誕生に、訪れた人々は大正ロマンを感じるとともに、今後の活用に期待を寄せていました。



### 四つ葉のクローバーをみんなで探す

5月1日、地元農家やJAほくさい行田中央支店の協力のもと、クローバー祭りが行われました。

例年、レンゲ祭りとして開催されていますが、今年はレンゲが生育不良となったため、レンゲ同様に緑肥として栽培されたクローバー畑で実施。参加した東小学校3年生67人の子供たちは、農家の方たちと一緒に四つ葉のクローバーを探したり、花飾りを作ったりして遊びの中でいろいろなことを学んでいました。



### スタンプを集めながら巡るまち歩き

4月21日・22日の2日間、第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるきが開催されました。

NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが主催しているこの催しは、スタンプを集めながら市内中心市街地にある19の蔵などの歴史的建造物を巡り、その再利用を体感するもの。各建物で2日間のみ行われる展示や体験イベントがあり、参加者らはマップを片手に歴史的な建造物が点在する行田のまちを歩きながら、思い思いの時間を楽しんでいました。

